

挑戦する心 ～生徒たちの頑張りを紹介～

ファーストペンギン通信

英語スピーチコンテスト入賞 2年 柴田瑠理花

タイトル「私の推し：キングダム・
王騎将軍」



①なぜスピーチをしようと思ったのですか？

幼稚園の時に、何回か英語で自分の好きな本を紹介するスピーチコンテストをして楽しかった思い出があったので、久しぶりにやってみようと思いました。

②スピーチをするにあたって大切にしていたことは何ですか？

あまり真顔でやらずになるべく笑顔で、カメラを見ないところを作ったり、自分の好きな推しのいいところを言うときに、声を少し大きめにしたりして気持ちを表現しました。また、聞き取りやすいように、コンマやピリオドでは、しっかり止めて話しました。

③あなたは全出場者（中学・高校含めて）の中で10名の入賞者に選ばれました。感想は？

たくさんのお出場者の中で選ばれると思っていたので、驚いたし、嬉しいです。

④スピーチをしてよかったと思えることは何ですか？

普通の授業でも、スピーチの時の説明の仕方を参考にできることです。また、知らない単語を覚えることができました。

⑤一番苦労したことは何ですか？

スピーチの中にどうしても噛んでしまう単語があって、そこで何回も失敗してしまったこと、感情表現が最初うまいかなくて苦戦しました。

⑥来年度のスピーチの題は何ですか？

将来の夢、死ぬまでにやりたいこと、中学校で2年間過ごしてみて感じたことを発表したいです。

漢字能力検定合格者

本校では漢字検定や数学検定、ニュース検定、世界遺産検定などを実施しており、放課後に学校で受検することができます。「検定に挑戦している＝意欲的に物事に取り組むことができる」、「検定に合格している＝目標達成に向け計画的に準備を進め、努力することができる」と判断できるため、高校や大学受験においても検定に合格していることが評価されます。

漢字検定は年に4回(6・8・11・2月)に実施しています。8月の第2回の検定では3級(中学卒業程度)に1名、2級(高校卒業程度)に1名が合格しました。

漢検3級:井上優(1年)



①漢字に興味をもったのはいつごろですか？

小学生の時にドラえものの漫画を読んで漢字に興味を持ち、4年生の時に7級に挑戦し、小学校を卒業するまでに4級まで合格しました。中学になって1学期の三者面談の時に、担任の先生に3級の受検を勧められ、挑戦することを決めました。

②どのように勉強しましたか？

漢字検定は読み・書きだけでなく、部首や四字熟語・熟語の構成・誤字訂正など、様々な分野から出題されます。まず、過去問題集を解き、わからなかった問題や間違えた問題は単語帳にまとめて、何度も勉強しました。特に熟語の構成(中学2年生での学習内容)が苦手でしたが、繰り返し勉強することでだんだんと判断できるようになっていきました。過去問題集は2周やりました。

③これからの展望は？

3級に合格することができたので、次は準2級に挑戦し、中学卒業するまでに2級に合格したいと思っています。

漢検2級:内藤杏(2年)



①漢字に興味をもったのはいつごろですか？

初めて漢字検定を受けたのは小学校1年生の時に、母に勧められて10級を受けました。その後、4年生ごろに6級に挑戦し、小学校卒業するまでに3級まで合格しました。

②どのように勉強しましたか？

級が上がるたびに増えていく範囲の漢字をノートに書きだして、順々に覚えてから過去問題に取り組むという勉強方法で、苦手な誤字訂正については間違えたら何度も覚えなおしました。

合格までに準2級は2回、2級は3回受検しましたが、「絶対に合格してやる」という強い気持ちを持って、あきらめずに何度も挑戦し、合格することができました。

③これからの展望は？

次の目標は準1級に合格したいけど、英検にも挑戦したいと思っています。